

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年11月4日(2021.11.4)

【公開番号】特開2021-142021(P2021-142021A)

【公開日】令和3年9月24日(2021.9.24)

【年通号数】公開・登録公報2021-045

【出願番号】特願2020-41630(P2020-41630)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 B

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】令和3年9月13日(2021.9.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技球が流下可能な遊技領域が形成された遊技盤と、

前記遊技盤を着脱可能に支持する本体枠と、を具備している遊技機であって、

前記本体枠に設けられ、前記遊技盤から排出された遊技球を回収して流下させる枠側球通路と、

前記枠側球通路を流下する遊技球を検知する球センサと、

前記球センサの検知結果に基づいて所定の演算を行う演算手段と、

前記枠側球通路における少なくとも前記球センサの配置箇所よりも下流に設けられており、前記枠側球通路を流下する遊技球に接触してアース接続させるアース手段とを備えることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、

遊技球が流下可能な遊技領域が形成された遊技盤と、

前記遊技盤を着脱可能に支持する本体枠と、を具備している遊技機であって、

前記本体枠に設けられ、前記遊技盤から排出された遊技球を回収して流下させる枠側球通路と、

前記枠側球通路を流下する遊技球を検知する球センサと、

前記球センサの検知結果に基づいて所定の演算を行う演算手段と、

前記枠側球通路における少なくとも前記球センサの配置箇所よりも下流に設けられており、前記枠側球通路を流下する遊技球に接触してアース接続させるアース手段とを備えることを特徴とする。

また、本発明とは別の発明として、以下の手段を参考的に開示する。

手段1：遊技機において、

「遊技媒体による遊技が行われる遊技盤を着脱可能に支持する本体枠を、具備している遊技機であって、

前記本体枠は、

前記遊技盤から放出された遊技媒体を誘導して排出する球通路と、

該球通路に設けられており遊技媒体を検知する球センサと、

前記球通路における少なくとも前記球センサよりも下流に設けられており、前記球通路を流通している遊技媒体と接触してアース接続させるアース手段と  
を有している」ものであることを特徴とする。